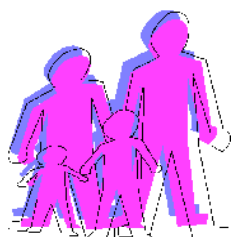


家庭科

学習指導計画

家庭科の学習目標



教科：家庭
 科目：家庭基礎
 履修：2年
 共通
 2単位

人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。

生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

「課題意識」「目的意識」をもち、家族や家庭生活の営みを人の一生との関わりの中でとらえ、乳幼児と高齢者の生活と福祉、家族の健康と衣食住、消費生活と環境などに関する知識と技術の学習と家族が協力する生活を目標とする。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）	
家庭基礎	2	共通	2	新家庭基礎21（実教出版）	生活学-Navi-（実教出版）	
学習の留意点	家庭科を「なぜ学ぶのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」をしっかりと認識する。実験・実習のある教科なので、服装や準備を怠らない。					
	班行動が中心となるので、班長を中心に、連絡が不十分にならないようにする。					
単元	学習単元			学習事項等		
前期	4	(1) 人の一生と家族・福祉 1 生涯発達と家族 2 乳幼児の発達と保育/福祉 3 高齢者の生活と福祉			(1) 人の一生と家族・福祉 ①家族について考え、ライフコースを描く ②制度からみた人の一生を理解し、自分の暮らしを創る準備を行う。 ③子供の成長を理解し、環境作りを考える。 ④子供の遊び、生活を理解し、親の役割を考える。 ⑤高齢者の心身の特徴や生活、高齢社会の問題点、高齢者福祉の現状を理解し、自分の生活や地域と関わっていることを確認する。	
	5					
	6					
	7	(2) 家族の生活と健康			(2) 家族の生活と健康 ①衣生活について学ぶ (30時)	
9	1 衣生活の管理と健康					
後期	10	2 食生活の管理と健康 3 住生活の管理と健康			②食生活について学ぶ。 調理実習、実験など体験学習を通し食生活と健康について理解する。	
	11					
	12	(3) 消費生活と環境 1 家庭の経済と消費 2 消費行動と環境			③人間と住まいについて考える。 家族の生活行為と住空間との関わりを理解する。 (3) 消費生活と環境 ①家庭の経済消費生活を学び、生活に即した経済を学ぶ。 ②消費生活と資源、環境の関わりを学ぶ。 (34時)	
	1					
2						
評価の方法	前期試験、後期試験を行います。 製作物、レポートなどの提出					